

凡例

1. 本記事解題が対象にする文献は、ここ 5 年間（2006～2010 年）に出版された 3 雑誌に掲載されている社会科学関連のインドネシア語の記事である。
2. 記事索引の採録対象は 4 ページ以上の分量をもつ記事に限定した。
3. 前 2 冊（1996～2000 年版および 2001～2005 年版）に収録されていたインドネシア語学術論文については、2006 年以降 5 年間の受入分すべてが、OPAC 詳細検索画面に雑誌名、論文タイトル、著者名、主題件名などを入力することで検索可能となったため割愛した。
4. 本記事解題は「政治」、「経済」、「汚職」、「対外関係」、「社会、その他」の 5 部からなり、各部においては掲載雑誌の発行年月日順に配列してある。
5. 各部の冒頭部分においては、収録記事の全体像に関する解説を掲載した。
6. 雑誌記事の表記は、タイトル、副タイトル、特集・シリーズ名、掲載雑誌名、巻号、発行年月日、掲載ページ、注釈の順である。特集・シリーズ名は丸ガッコで括り、掲載雑誌名には下線を付した。
7. タイトル、副タイトル中に現われた外国語は斜体で表記した。
8. 発行年月日の月名は英語で表記し、1、2、3、4、8、9、10、11、12 の各月はそれぞれ Jan., Feb., Mar., Apr., Aug., Sept., Oct., Nov., Dec. の省略形を用いた。
9. 掲載ページにみられる[]内の数字はページ番号が付されていなかったページで、前後のページ数をみた上で相当する数字を記入した。
10. 週刊誌 2 誌（*Tempo* および *Forum keadilan*）の発行年月日は、いわゆる「何月何日号」に相当するもので、実際に発行されたのはその約 1 週間ほど前である。そのため、報道対象となった出来事自体が起こった日と発行年月日との間には 1～2 週間、あるいはそれ以上の時差がある。
11. 各記事の注釈は簡単な内容解説である。注釈のなかの人名は敬称を省略した。

- 1 2. 記事の注釈において、アブリザル・バクリ・ゴルカル党総裁は'A. バクリ'、フトモ・マンダラプトラは'トミー・スハルト'または'スハルトの三男'と表記した。
- 1 3. 記事の注釈において、スペース節約のためインドネシアを'イ・'と省略した箇所がある。
- 1 4. 巻末に収録した索引は、記事の中で頻繁に言及される人名、組織・団体名、会社名、地名などを抽出した上で、ローマ字のアルファベット順に並べた左列と、その関連記事のアイテム番号を示した右列とから成っている。
- 1 5. 索引においては組織・団体名などに略称を用いたものがあるが、フルネームをみるよう指示を入れてあるので、そこから目的の文献を探していただきたい。
- 1 6. インドネシア人の名前はエスニックグループごとに多種多様であり、人名は倒置せずにそのまま記したものが多く。しかし、便宜上部分的ではあるが、バタック人、欧米人などの氏族名や姓に相当する名前を前置したものが多く。また、称号や生誕順を表す名前と Achmad や Mohammad などのポピュラー・ネームは後置した。
- 1 7. 雑誌記事のなかで 2 ページ以上のコラム記事の執筆者、1 ページ以上のインタビュー回答者、ならびに 1 ページ以上にわたる記述対象となった企業、団体、人物は索引に収録した。